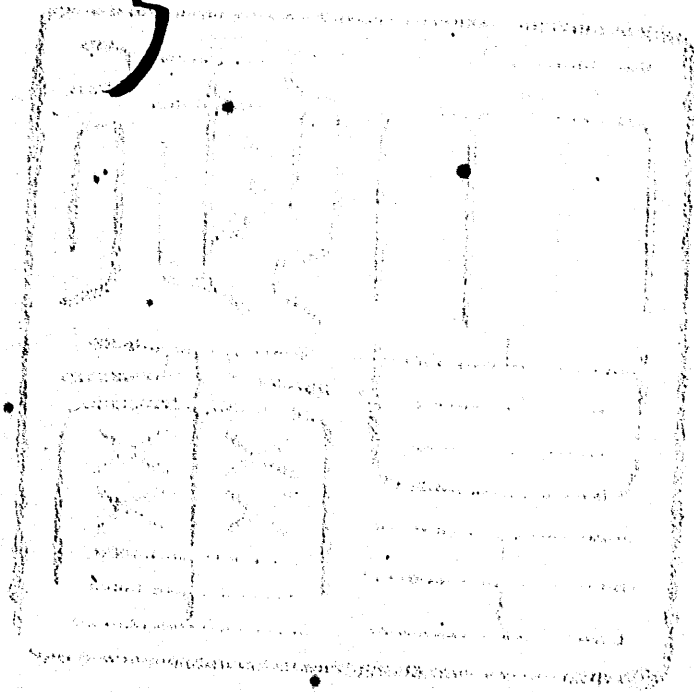
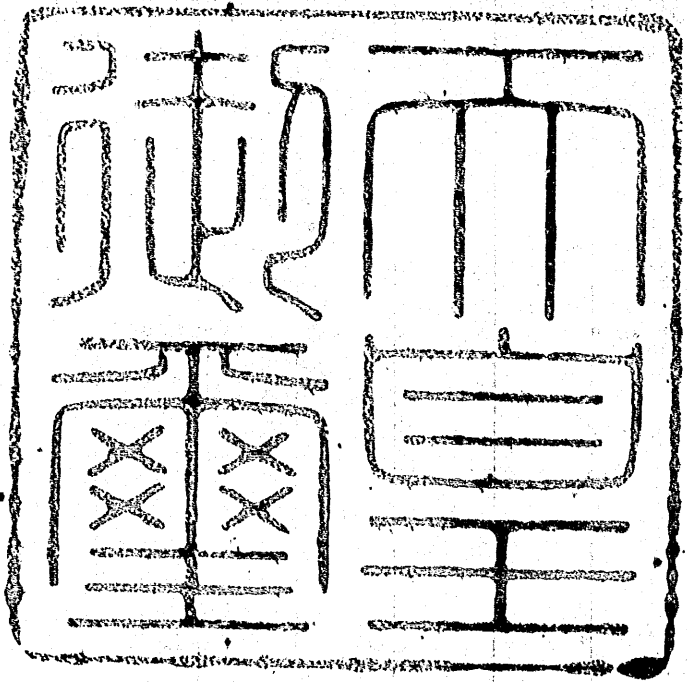


法律第三十八号



朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル軍需工業動
員法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

吉岡 仁



大正七年四月十六日

大藏大臣	農商務大臣	遞信大臣男爵	文部大臣	司法大臣 <small>法學博士</small>	外務大臣 <small>法學博士</small>	陸軍大臣	海軍大臣	內務大臣男爵	內閣總理大臣伯爵
大藏大臣	仲野廉	田健治郎	松室致	本野一郎	大島健一	加藤友三郎	後藤新平	寺內正毅	

法律第三十八號

軍需工業動員法

第一條

本法ニ於テ軍需品ト稱スルハ

- 一 左ノ各號ニ掲クルモノヲ謂フ
 - 兵器艦艇航空機彈藥並軍用器具
 - 機械及物品
- 二 軍用ニ供シ得ハキ船舶海陸聯絡輸送設備鐵道軌道及其ノ附屬設備其ノ他ノ輸送用物件
- 三 軍用ニ供シ得ハキ燃料被服及糧

秣

四 軍用ニ供シ得ヘキ衛生材料及獸醫材料

五 軍用ニ供シ得ヘキ通信用物件

六 前各號ニ掲クルモノノ生産又ハ修理ニ要スル材料、原料、器具、機械、設備及建築材料

七 前各號ニ掲クルモノヲ除クノ外、勅令ヲ以テ指定スル軍用ニ供シ得ヘキ物件

第二條 政府ハ戰時ニ際シ軍需品ノ生

産又ハ修理ノ爲必要アルトキハ左ノ各號ニ掲クル工場及事業場竝其ノ附屬設備ノ全部又ハ一部ヲ管理シ使用シ又ハ收用スルコトヲ得

一 軍需品ノ生産又ハ修理ヲ爲ス工場及事業場

二 前號ニ掲クル工場及事業場ニ要スル原料若ハ燃料ヲ生産シ又ハ電力若ハ動力ヲ發生スル工場及

事業場

三 前各號ニ掲クル工場ニ轉用スル
コトヲ得ル工場

第三條 政府ハ戰時ニ際シ軍需品ノ生
産、修理又ハ貯藏ノ爲必要アルトキハ
土地並家屋倉庫其ノ他ノ工作物及其
ノ附屬設備ノ全部又ハ一部ヲ管理シ、
使用シ又ハ收用スルコトヲ得

政府ハ戰時ニ際シ必要アルトキハ第
一條第二號ニ掲クル物件ノ全部又ハ

一部ヲ管理スルコトヲ得

第四條 前二條ノ場合ニ於テ政府
ハ從業者ヲ供用セシムルコトヲ
得

第五條 前三條ノ規定ニ依ル處分
ニ因リ生シタル損害ハ政府之ヲ
補償ス

第六條 政府ハ戰時ニ際シ軍需品
又ハ第二條第二號ノ原料若ハ燃
料ノ讓渡、使用、消費所持、移動若ハ

輸出入ニ關シ必要ナル命令ヲ爲
スコトヲ得

第七條 戰時ニ際シ第一條ニ掲クル物
件ニシテ徵發令中ニ規定ナキモノヲ
使用又ハ收用セムトスルトキハ徵發
令ノ規定ヲ準用ス

第八條 政府ハ戰時ニ際シ兵役ニ在ル
者ヲ徵兵令ニ拘ラス勅令ノ定ムル所
ニ依リ召集シテ軍事輸送機關又ハ第
二條ノ規定ニ依リ政府ノ管理スル工

場若ハ事業場ノ業務ニ後事セシムル
コトヲ得

前項ノ規定ハ第二條各號ニ掲クル工
場又ハ事業場ニシテ國ノ經營ニ係ル
モノニ關シ之ヲ準用ス

第九條 政府ハ戰時ニ際シ勅令ノ定ム
ル所ニ依リ兵役ニ在ラサル者ヲ徵用
シテ前條ニ掲クル業務ニ後事セシム
ルコトヲ得

第十條 第二條又ハ第三條ノ規定ニ依

リ收用シタル工場事業場土地又ハ家
屋其ノ他ノ工作物及其ノ附屬設備不
用ニ歸シタル場合ニ於テ收用シタル
時ヨリ五年内ニ拂下クルトキハ舊所
有者又ハ其ノ承繼人ニ於テ優先ニ之
ヲ買受クルコトヲ得

第十一條 政府ハ軍事上必要アルトキ
ハ第二條各號ニ掲クル工場若ハ事業
場ヲ有スル者又ハ其ノ管理者ニ對シ
其ノ事業ニ使用スル設備器具機械從

業者若ハ材料原料器具機械ノ供給者
又ハ生産發生若ハ修理ノ能力若ハ數
量其ノ他事業ノ狀況ニ付必要ト認ム
ル事項ノ報告ヲ命スルコトヲ得

第十二條 政府ハ軍事上必要アルトキ
ハ鐵道軌道船舶海陸聯絡輸送設備其
ノ他ノ輸送用物件ノ所有者又ハ管理
者ニ對シ車輛軌條船舶又ハ海陸聯絡
輸送設備ノ數量構造輸送能力從業者
其ノ他必要ト認ムル事項ノ報告ヲ命

スルコトヲ得

第十三條 政府ハ軍事上必要アルトキ
ハ軍需品又ハ第二條第二號ノ原料若
ハ燃料ノ取引又ハ保管ヲ業トスル者
ニ對シ其ノ取引ノ相手方取引又ハ保
管ノ數量保管ノ設備其ノ他事業ノ狀
況ニ付必要ト認ムル事項ノ報告ヲ命
スルコトヲ得

第十四條 政府ハ軍事上必要アルトキ
ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第二條各號

ニ掲クル工場若ハ事業場ヲ有スル者
又ハ前條ニ掲クル者ニシテ一定ノ資
格アルモノニ對シ豫算ノ範圍内ニ於
テ一定ノ利益ヲ保證シ又ハ獎勵金ヲ
下付スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ政
府ハ其ノ者ニ對シ軍需品ノ生産修理
若ハ貯藏ヲ爲サシメ又ハ軍事上必要
ナル設備ヲ爲サシムルコトヲ得
政府ハ前項ノ規定ニ依リ利益保證又
ハ獎勵金下付ヲ受クル事業ヲ監督シ

又ハ之カ爲必要ナル命令若ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十五條 第五條ノ規定ニ依ル補償金及前條ノ利益保證又ハ獎勵金ノ算定並第十條ノ規定ニ依ル拂下價額ハ軍需評議會ノ決議ヲ經テ之ヲ定ム

軍需評議會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第十六條 當該官吏又ハ吏員ハ第十一條乃至第十三條ノ規定ニ依リ報告ヲ

命シ得ル事項調査ノ爲又ハ第十四條ノ規定ニ依ル監督若ハ處分ヲ爲ス爲必要ナル場所ニ立入り、検査ヲ爲シ、調査資料ノ提供ヲ求メ又ハ從業者ニ對シ質問ヲ爲スコトヲ得

第十七條 工業的發明ニ係ル物又ハ方法ニ關シ豫メ政府ノ承認ヲ得タル事項又ハ設備ニ付テハ報告ヲ命シ、検査ヲ爲シ、調査資料ノ提供ヲ求メ又ハ從業者ニ對シ質問ヲ爲スコトヲ得ス

第十八條 利益保證又ハ獎勵金ヲ受ク
ル事業ヲ承繼スル者ハ本法若ハ本法
ニ基キテ發スル命令之ニ依リテ爲ス
處分又ハ利益保證若ハ獎勵金下付ニ
附シタル條件ニ依ル前者ノ權利義務
ヲ承繼ス

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者
ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ
罰金ニ處ス

一 第二條又ハ第三條ノ規定ニ依ル

管理使用又ハ收用ヲ拒ミタル者

二 第四條ノ規定ニ依ル供用ヲ拒ミ

タル者

三 第六條ノ規定ニ依ル命令ニ違反
シタル者

第二十條 第十四條第一項ノ規定ニ依
ル命令ニ違反シタル者ハ二年以下ノ
懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス
戰時ニ際シ前項ノ罪ヲ犯シタルトキ
罰前條ニ同シ

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第八條ノ規定ニ依ル召集ニ應セ
ス又ハ同條ノ規定ニ依ル業務ニ
従事スルコトヲ拒ミタル者

二 第九條ノ規定ニ依ル徵用ニ應セ
ス又ハ同條ノ規定ニ依ル業務ニ
従事スルコトヲ拒ミタル者

三 第十一條乃至第十三條ノ規定ニ

依リ命セラレタル報告ヲ爲サス
又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタル者
四 第十四條第二項ノ規定ニ依ル命
令ニ違反シタル者

五 第十六條ノ規定ニ依ル當該官吏
又ハ吏員ノ職務ノ執行ヲ拒ミ妨
ケ若ハ忌避シ、調査資料ノ提供ヲ
爲サス若ハ虚偽ノ調査資料ヲ提
供シ又ハ質問ニ對シ虚偽ノ陳述
ヲ爲シタル者

第二十二條 當該官吏若ハ吏員又ハ其
ノ職ニ在リタル者本法ニ依ル職務ニ
依リ知得シタル事業上ノ秘密ヲ漏洩
シ又ハ竊用シタルトキハ二年以下ノ
懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス當
該官吏又ハ吏員第十七條ノ規定ニ違
反シタルトキ亦同シ
職務上前項ノ秘密ヲ知得シタル他ノ
公務員又ハ公務員タリシ者其ノ秘密
ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキ罰前項

二同シ